



吉田村Villageが栃木県マロニエ建築賞を受賞

令和3年8月にオープンした吉田村Village（本吉田784）が、第34回栃木県マロニエ建築賞を受賞し、このプロジェクトを手掛けた建築主の(一社)シモツケクリエイティブ・山口貴明様、伊澤敦彦様、設計者の(有)アトリエ慶野正司一級建築士事務所・慶野正司様、施工者の(株)小林工業・小林英一郎様が、12月26日に市長へ受賞を報告しました。

山口様は、「地域のまちづくり会社として市民の願いを形に変えるお手伝いをさせていただいた。地元でなりわいをする人たちが50年後も100年後もここに残りたいと思えるような場所をつくりたい」と話しました。

マロニエ建築賞とは

都市景観の形成、歴史・文化の創造及び建築水準の向上に寄与する「特に優れた建築物」として選出された建築物1点を表彰するものです。今回の応募総数は35点でした。

吉田村Villageとは

農協跡地に残る築80年の大規模な大谷石蔵を、物販店舗や宿泊施設にリノベーションして誕生しました。かつて村のシンボルであった大谷石蔵を大切に生かすことで、地域文化の継承、脱炭素社会やSDGsの実現にも貢献しています。

また、地域有志グループと設計者が協力して実現したプロジェクトでもあり、今後も周辺地域を巻き込んで、地域の価値をさらに高めていくことが期待されます。



↑建物外観 往時をしのばせる大谷石をそのままに

↓建物内観 人と人をつなぐ魅力的な空間を創出



慶野様

山口様

伊澤様

小林様

下野市産おいしいお米コンクール

おいしいお米を表彰

下野市認定農業者連絡協議会と共催で、第6回下野市産おいしいお米コンクールを開催しました。

市内認定農業者から出品していただいた下野市産の新米54点を食味分析鑑定し、タンパク質や水分、アミノ酸の値を測定した結果、手塚悠太郎様（中川島）、甲田耕治様（本吉田）、須藤勇樹様（下古山）の生産した新米が、特に優秀な品質であったことから、手塚様が下野市長賞、甲田様と須藤様が下野市認定農業者連絡協議会長賞を、それぞれ受賞しました。

3名の方の新米は、第24回米・食味分析鑑定コンクール国際大会へエントリーしました。



手塚様

甲田様

須藤様